

## 資料目次

- 資料 1 3つのポリシー（未来キャリア英語学科）
- 資料 2 「養成する人材像」と3つのポリシーとの関連・整合性
- 資料 3 未来キャリア英語学科「学び」の領域
- 資料 4 履修モデル
- 資料 5 カリキュラムマップ
- 資料 6 学修ルーブリック
- 資料 7 2022 年度 企業実習先一覧
- 資料 8 本学科関連の所蔵図書資料
- 資料 9 管理運営機構図
- 資料 1 0 法人・大学事務組織機構図
- 資料 1 1 学校法人関西外国語大学内部質保証システム概念図
- 資料 1 2 関西外国語大学短期大学部ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会規程
- 資料 1 3 学校法人関西外国語大学スタッフ・ディベロップメント(SD)委員会規程

## 3つのポリシー（短期大学部 未来キャリア英語学科）

<p>建学の理念</p>	<p>「公正な世界観にもとづき時代と社会の要請に応じていく実学」の教授研究を通して、「国際社会に貢献できる豊かな教養を備えた人材」を育成します。</p>
<p>大学の教育理念・方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短期大学教育を高等教育の「ファーストステージ」として位置づけ、就職や学士課程への編入学へと繋げる「言語運用能力」と幅広い教養や知識、人間性といった「基礎的人間力」の修得をめざします。</li> <li>・ 言語を「コミュニケーション・ツール」として位置づけ、より実用的な言語教育を行います。</li> <li>・ 言語教育にとどまらず、平和な国際社会の構築に貢献しうる人材として必要な国際教育に力を注ぎ、豊かな人間性に裏付けられたコミュニケーション力を培うための教養教育を重視します。</li> </ul>
<p>学科の人材養成目的</p>	<p>英語コミュニケーション力と情報リテラシーの向上を図り、自らのキャリア形成の過程で、未来を展望し柔軟に対応できる実務的な職業人の育成を目的とします。</p>
<p>学位授与の方針 (DP)</p>	<p>本学科の人材養成目的を達成するため、次に掲げる知識・技能などを身につけた者に、「短期大学士(キャリア英語)」の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実用的な英語コミュニケーション力と情報リテラシーを修得できるようになる。</li> <li>2. 多様な現代的課題に他者と協調しながら主体的に取り組み、解決する力を身につけ、未来に向けたキャリア形成ができるようになる。</li> </ol>
<p>教育課程の編成・実施の方針 (CP)</p>	<p>〔教育課程の編成にかかる基本方針〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・技能などを修得させるために、専門教育科目、教養教育科目を体系的に編成し、授業を開講します。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育内容について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「English for Social Issues」「English for Global Issues」等により、実用的な英語コミュニケーション力の修得をめざします。</li> <li>(2) 「K.G.C.ベースックス」、「情報リテラシー」、「情報処理概論」等により、キャリア形成に活かせる情報リテラシーの修得をめざします。</li> <li>(3) 「K.G.C.ベースックス」と「キャリアプランニング」により、卒業後の一人ひとりに合ったキャリア形成を図り、社会の中で自律して自分の役割を果たすことのできる力を養い、多様な業界などで活躍できる専門的知識や技術の獲得をめざします。</li> </ol> </li> <li>2. 教育方法について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 主体的、協動的に学び、課題解決能力を高めるため、ディスカッション、プレゼンテーション、グループワークなどの教育方法を活用したアクティブ・ラーニング型授業を実施します。</li> <li>(2) 産業界等と連携した就業体験型Project-based learning(プロジェクト型学習授業)の授業等を通して、主体性、協調性、課題解決能力の向上と未来に向けたキャリア形成を図ります。</li> <li>(3) クラス担任制により、2年間の学びを通して順次的・発展的に学修が行えるように学修支援ならびに指導を行います。</li> <li>(4) 本学独自のネットワークにより、海外の企業での研修および語学留学を通して、知識はもとより国際感覚などを身につけます。</li> </ol> </li> <li>3. 学修成果の評価について             <p>学修成果の評価は、単位修得の確認、ルーブリック等により行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 修得科目、留学・国際交流プログラムへの参加とそれらへの評価、インターンシップ等の実績と評価、資格取得、クラス担任による面談記録などを含めた2年間の学修記録を活用し、学修成果の到達度をディプロマ・ポリシーに照らし総合的に評価します。</li> <li>(2) 「K.G.C.学修ルーブリック」により、各学期ごとに学修過程とその成果について振り返りを行い、自分が獲得した能力要素を確認・記録することで、それらの可視化を行います。</li> <li>(3) 1年次にはTOEICの受験を義務づけ、1年次の英語の学修成果を補完的に検証します。</li> </ol> </li> </ol>

## 3つのポリシー(短期大学部 未来キャリア英語学科)

入学者受入れの方針(AP)

本学科の教育上の目的として定める人材を育成するため、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、「求める人材像」を次のとおり定め、高等学校での学習を通しての基礎的な知識として、英語力を中心とする基礎学力などをもとに選抜を行い、入学者を受け入れます。

### 1. 求める人材像について

高等学校までの学習・活動を通して、論理的に自分の意見を発信でき、とりわけ「英語」の学習において、「聞く・話す・読む・書く」の4技能の基礎的な内容を身につけた上で、

- (1) 実用的な英語コミュニケーション力と情報リテラシーを向上させるとともに、幅広い教養を身につけ、産業界で活躍する強い意志を持つ人
- (2) 社会人としてのコミュニケーション能力やマナーの重要性を理解し、自律した社会人およびリーダーをめざすなど自身のキャリア形成に強い意志を持つ人

### 2. 評価方法について

上記のような学生を選抜するため、形態ごとに以下のような試験を行い、本学科で学修するための基盤となる学力などについて評価します。

#### (1) 一般選抜

##### ア. 一般入試

###### ① 1科目型:

個別学力検査(外国語)により評価します。[後期]

###### ② 2科目型:

個別学力検査(外国語、国語)により評価します。[前期: A方式]

###### ③ 3科目型:

個別学力検査(外国語)と大学入学共通テスト(国語、選択科目)により評価します。[前期: 共通テストプラス方式]

##### イ. 大学入学共通テスト利用入試

① 2科目型: 大学入学共通テスト(英語、国語の2科目)の得点により評価します。[前期/後期]

② 5科目型: 大学入学共通テスト(英語、国語、地理歴史・公民、数学、理科の5科目)の得点により評価します。[前期]

#### (2) 学校推薦型選抜

##### ア. 公募制推薦入試

基礎学力検査として英語を課し、調査書等、学校長推薦書を総合して評価します。

##### イ. 指定校制推薦入試

書類選考、口頭試問(面接)を総合して評価します。

#### (3) 特別型選抜

##### ア. 自己推薦入試

書類選考、口頭試問(面接)を総合して評価します。

##### イ. 社会人入試

書類選考、筆記試験(英語、小論文)、口頭試問(面接)を総合して評価します。

##### ウ. 帰国生徒入試

筆記試験(英語、小論文)、口頭試問(面接)を総合して評価します。

2024年4月1日施行( 年 月 日制定)

関西外国語大学短期大学部 未来キャリア英語学科

「養成する人材像」と3つのポリシーとの関連・整合性

<p>建学の理念／ 大学の教育理念 ・方針</p> <p>学科の人材 養成目的</p>	<p>【建学の理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成</li> <li>■ 公正な世界観にもとづき時代と社会の要請に応えていく実学</li> </ul> <p>【学科の人材養成目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 英語コミュニケーション力と情報リテラシーの向上を図り、自らのキャリア形成の過程で、未来を展望し柔軟に対応できる実務的な職業人の育成を目的とします。</li> </ul>		<p>【大学の教育理念・方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 短期大学教育を高等教育の「ファーストステージ」として位置づけ、就職や学士課程への編入学へと繋げる「言語運用能力」と幅広い教養や知識、人間性といった「基礎的人間力」の修得をめざします。</li> <li>■ 言語を「コミュニケーション・ツール」として位置づけ、より実用的な言語教育を行います。</li> <li>■ 言語教育にとどまらず、平和な国際社会の構築に貢献しうる人材として必要な国際教育に力を注ぎ、豊かな人間性に裏付けられたコミュニケーション力を培うための教養教育を重視します。</li> </ul>			
<p>学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)</p> <p>・本学科の教育課程において、所定の卒業要件単位としての64単位を修得した者に学位を授与する。 ・学修成果の可視化の指標として、獲得できる6つの能力を示す。</p>	<p>本学科の人材養成目的を達成するため、次に掲げる知識・技能などを身につけた者に、「短期大学士(キャリア英語)」の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実用的な英語コミュニケーション力と情報リテラシーを修得できるようになる。</li> <li>2. 多様な現代的課題に他者と協調しながら主体的に取り組み、解決する力を身につけ、未来に向けたキャリア形成ができるようになる。</li> </ol>					
<p><b>キャリア形成力</b></p>						
<p>DPの1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実用的な英語コミュニケーション力と情報リテラシーの修得</li> <li>・英語を理解し、実用的な目的で受信や発信ができる能力</li> <li>・情報を適切に、収集・選択・分析・発信する能力</li> </ul>		<p>DPの2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 多様な現代的課題に他者と協調しながら主体的に取り組み、解決する力を身につけ、未来に向けたキャリア形成ができるようになる。</li> <li>・他者と協力し目標に向かって取り組む能力</li> <li>・主体的に考え、物事に対して積極的に取り組む能力</li> <li>・多様な課題の解決策を考え、実行する能力</li> </ul>				
<p>6つの能力</p> <p>定義</p>	<p><b>英語運用力</b></p> <p>英語を理解し実用的な目的で受信・発信する力</p>	<p><b>異文化理解力</b></p> <p>多様な文化背景を理解する力</p>	<p><b>情報収集・活用力</b></p> <p>情報を適切に、収集・選択・分析・発信する力</p>	<p><b>共生・協働力</b></p> <p>多種多様な価値観を有する他者と協力し目標に向かって取り組む力</p>	<p><b>主体的行動力</b></p> <p>主体的に考え、積極的に物事に取り組む力</p>	<p><b>課題解決力</b></p> <p>様々な課題に対する解決策を考え、実行する力</p>
<p>教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)</p> <p>・ディプロマ・ポリシーと「養成する人材像」に掲げた知識・能力などを修得できるように、教育課程を「専門教育科目」と「教養教育科目」に区分し、基礎から発展へと卒業まで体系的に編成し、学修・教育・評価を行う。</p> <p>↓ カリキュラムマップに記載</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・English for Social Issues A～D</li> <li>・English for Global Issues A、B</li> <li>・TOEFL演習</li> <li>・TOEIC演習</li> <li>・英検演習</li> <li>・試験英語A～C</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語文章表現法</li> <li>・中国語Ⅰ～Ⅳ</li> <li>・スペイン語Ⅰ～Ⅳ</li> <li>・フランス語Ⅰ、Ⅱ</li> <li>・ハンガールⅠ、Ⅱ</li> <li>・海外事情研究A～G</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報リテラシーA、B</li> <li>・情報処理概論</li> <li>・キャリア形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホスピタリティ</li> <li>・秘書学概論</li> <li>・秘書実務</li> <li>・人権問題論</li> <li>・スポーツ健康科学A、B</li> <li>・総合科目A、B、D、E</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスホスピタリティ演習</li> <li>・カラーコーディネート実践</li> <li>・ファッションコーディネート実践</li> <li>・ドクターズクラーク実践</li> <li>・プライダル・ビジネス</li> <li>・観光・ビジネス</li> <li>・エアライン・ビジネス</li> <li>・ホテル・ビジネス</li> <li>・ツーリズム演習</li> <li>・キャリアプランニング</li> <li>・ビジネス入門</li> <li>・海外企業研究</li> <li>・総合科目C</li> <li>・ボランティア実習A～D</li> <li>・ボランティア実習E</li> <li>・就業体験実習A～D</li> <li>・就業体験実習E</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KGCベーシックスA～C</li> <li>・文化とくらし</li> <li>・就業体験型PBL</li> <li>・法学</li> <li>・企業倫理</li> </ul>
<p>入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本学科の教育上の目的として定める人材を育成するため、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、「求める人材像」を次のとおり定め、高等学校での学習を通しての基礎的な知識として、英語力を中心とする基礎学力などをもとに選抜を行い、入学者を受け入れます。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 求める人材像について 高等学校までの履修内容を通して、論理的に自分の意見を発信でき、特に「英語」の学習において、「聞く・話す・読む・書く」の4技能の基礎的な内容を身につけた上で、 (1) 実用的な英語コミュニケーション力と情報リテラシーを向上させるとともに、幅広い教養を身につけ、産業界で活躍する強い意志を持つ人 (2) 社会人としてのコミュニケーション能力やマナーの重要性を理解し、自律した社会人及びリーダーをめざすなど自身のキャリア形成に強い意志を持つ人</li> </ol>					

# 関西外国語大学短期大学部 未来キャリア英語学科「学び」の領域

英語コミュニケーション力と情報リテラシーを有し  
未来を展望し柔軟に対応できる実務的な職業人を育成

## 多様な教育・留学プログラム

- ・ニーズに応じた留学プログラム  
希望者全員留学(短期)、リベラルアーツ留学(長期)等
- ・IEPプログラム(オンラインでの国際交流)
- ・スピーキングパートナーや GLOBAL COMMONS 結(ゆい)での留学生との共同生活

## 多彩な取得可能な免許・資格(一例)

- ・ビジネス実務士 ・観光実務士 ・秘書士
- ・秘書検定 ・ファッションビジネス能力検定
- ・ファッション販売能力検定 ・観光英語検定
- ・色彩検定 ・サービス接遇実務検定 ・TOEIC
- ・ブライダルコーディネーター ・MOS

## 専門選択科目の学び

### 就業体験型 PBL

企業での就業体験+企業の課題に対する  
解決策を検討する課題解決型授業(PBL)

### キャリアプランニング

「なりたい未来の自分」を実現するため、  
就職活動に向けたきめ細かな支援

### 資格取得系科目

- カラーコーディネート実践
- ファッションコーディネート実践
- ドクターズクラーク実践
- サービス・ホスピタリティ演習
- ブライダル・ビジネス
- エアライン・ビジネス
- ホテル・ビジネス 等

国内・外で活躍できる

職業人となる力

### 情報リテラシー

情報倫理の考え方を身につけ、情報リテラ  
シーの向上をめざす

### 海外企業研究

国内・外の企業で活躍中の講師を招き、世  
界で活躍する時に必要な資質・能力を育成

## 専門必修科目の学び

### 実用的な英語コミュニケーション力

### English for Social Issues English for Global Issues

【習熟度別クラス】

文化・環境・世界の時事問題等を英語で学び、  
英語コミュニケーション力向上をめざす

### K.G.C.ベーシックス

【クラス担任制】

クラス担任による基礎ゼミナールでキャリア  
形成力と人間力向上をめざす

キャリア形成力・人間力

## 履修モデル

## 航空・ホテル・旅行

	1年次	2年次	計
専門必修科目	English for Social Issues A English for Social Issues B English for Social Issues C English for Social Issues D K.G.C.ベーシックスA K.G.C.ベーシックスB	English for Global Issues A English for Global Issues B K.G.C.ベーシックスC	30
	20	10	
専門選択科目	キャリアプランニング 情報リテラシーA 情報リテラシーB 観光・ビジネス ホテル・ビジネス ホスピタリティ キャリア形成	ツーリズム演習 サービスホスピタリティ演習 エアライン・ビジネス TOEIC演習 就業体験型PBL	28
	16	12	
教養教育科目	就業体験実習A	人権問題論	6
	2	4	
計	38	26	64

## 履修モデル

### メーカー・商社・金融

	1年次	2年次	計
専門必修科目	English for Social Issues A English for Social Issues B English for Social Issues C English for Social Issues D K.G.C.ベーシックスA K.G.C.ベーシックスB	English for Global Issues A English for Global Issues B K.G.C.ベーシックスC	30
	20	10	
専門選択科目	キャリアプランニング ビジネス入門 秘書学概論 秘書実務 情報処理概論 日本語文章表現法	情報リテラシーA 情報リテラシーB カラーコーディネート実践 ファッションコーディネート実践 海外企業研究	28
	18	12	
教養教育科目	企業倫理	総合科目D	6
	4	2	
計	42	24	64

2024年度 関西外国語大学短期大学部 未来キャリア英語学科 カリキュラムマップ

科目区分	科目名称	配当 年次	単 位 数	ビ ジ ネ ス 実 務 士	観 光 実 務 士	秘 書 士	キャリア形成力						備考欄		
							DPの1を達成する ために必要な能力			DPの2を達成する ために必要な能力				■DPの1 実用的な英語コミュニケーション 力と情報リテラシーを修得 できるようになる	■DPの2 多様な現代的課題に他者と協 調しながら主体的に取組み、解 決する力を身につけ、未来に向 けたキャリア形成ができるよう になる
							英 語 運 用 力	異 文 化 理 解 力	情 報 収 集 ・ 活 用 力	共 生 ・ 協 働 力	主 体 的 行 動 力	課 題 解 決 力			
専門必修科目 9科目 30単位	English for Social Issues A	1	4			○	◎	○				○			
	English for Social Issues B	1	4			○	◎	○				○			
	English for Social Issues C	1	4				◎	○				○			
	English for Social Issues D	1	4				◎	○				○			
	English for Global Issues A	2	4				◎	○				○			
	English for Global Issues B	2	4				◎	○				○			
	K. G. C. ベーシックス A	1	2	◎	◎				○	○		◎			
	K. G. C. ベーシックス B	1	2	◎	◎				○	○		◎			
	K. G. C. ベーシックス C	2	2	○	○				○	○		◎			
専門選択科目 35科目 102単位	サービスホスピタリティ演習	1	2	○	○	○				○	◎	○			
	カラーコーディネート実践	1	2						○	○	◎				
	ファッションコーディネート実践	1	4						○	○	◎				
	ドクターズクラーク実践	1	4						○		◎	○			
	ブライダル・ビジネス	1	4	○					○	○	◎				
	観光・ビジネス	1	2		◎				○	○		◎			
	エアライン・ビジネス	1	4		○				○	○		◎			
	ホテル・ビジネス	1	4	○	◎				○	○		◎			
	ツーリズム演習	2	2		◎				○	○		◎			
	ホスピタリティ	1	4		◎	○			○		◎	○			
	文化とくらし	1	4						○			◎			
	秘書学概論	1	2			◎			○	◎	○				
	秘書実務	1	2			◎			○	◎	○				
	情報リテラシー A	1	1	○	○	○			◎		○	○			
	情報リテラシー B	1	1	○	○	○			◎		○	○			
	情報処理概論	1	4			○			◎		○	○			
	キャリアプランニング	1	2		○				○		◎	○			
	キャリア形成	1	2						◎		○	○			
	ビジネス入門	1	4	○	○	○			○		◎	○			
	海外企業研究	1	2						○		◎	○			
	日本語文章表現法	1	4			○			◎		○	○			
	TOEFL演習	1	2				◎	○				○			
	TOEIC演習	1	2				◎	○				○			
	英検演習	1	2				◎	○				○			
	就業体験型PBL	1	2	○	○	○			○	○		◎			
	試験英語A～C	2	2				◎	○				○			
海外事情研究A～G	1	4				○	◎				○				

科目区分	科目名称	配当年次	単位数	ビジネス実務士	観光実務士	秘書士	キャリア形成力						備考欄
							DPの1を達成するために必要な能力			DPの2を達成するために必要な能力			
							英語運用力	異文化理解力	情報収集・活用能力	共生・協働能力	主体的行動力	課題解決力	
教養教育科目 32科目74単位	人権問題論	1	4						◎	○	○	<b>■DPの1</b> 実用的な英語コミュニケーション力と情報リテラシーを修得できるようにする <b>■DPの2</b> 多様な現代的課題に他者と協調しながら主体的に取組み、解決する力を身につけ、未来に向けたキャリア形成ができるようになる	
	法学(日本国憲法2単位を含む)	1	4						○	○	◎		
	企業倫理	1	4			○			○	○	◎		
	総合科目A	1	4						◎	○	○		
	総合科目B	1	4						◎	○	○		
	総合科目C	1	4					○	○	◎			
	総合科目D	1	2						◎	○	○		
	総合科目E	1	2						◎	○	○		
	スポーツ健康科学A	1	2						◎	○	○		
	スポーツ健康科学B	1	2						◎	○	○		
	ボランティア実習A~D	1	2						○	◎	○		
	ボランティア実習E	1	1						○	◎	○		
	就業体験実習A~D	1	2					○	○	◎			
	就業体験実習E	1	1					○	○	◎			
	中国語Ⅰ	1	2					◎	○	○			
	中国語Ⅱ	1	2					◎	○	○			
	中国語Ⅲ	2	2					◎	○	○			
	中国語Ⅳ	2	2					◎	○	○			
	スペイン語Ⅰ	1	2					◎	○	○			
	スペイン語Ⅱ	1	2					◎	○	○			
	スペイン語Ⅲ	2	2					◎	○	○			
	スペイン語Ⅳ	2	2					◎	○	○			
	フランス語Ⅰ	1	2					◎	○	○			
フランス語Ⅱ	1	2					◎	○	○				
ハングルⅠ	1	2					◎	○	○				
ハングルⅡ	1	2					◎	○	○				

卒業要件単位

区分	各学年単位数		合計
	1年次	2年次	
専門必修科目	20	10	30
専門選択科目	28		28
教養教育科目	6		6
卒業所要単位数			64

○専門選択科目の卒業所要単位を超えて修得した単位は、教養教育科目の修得単位として含めることができる。

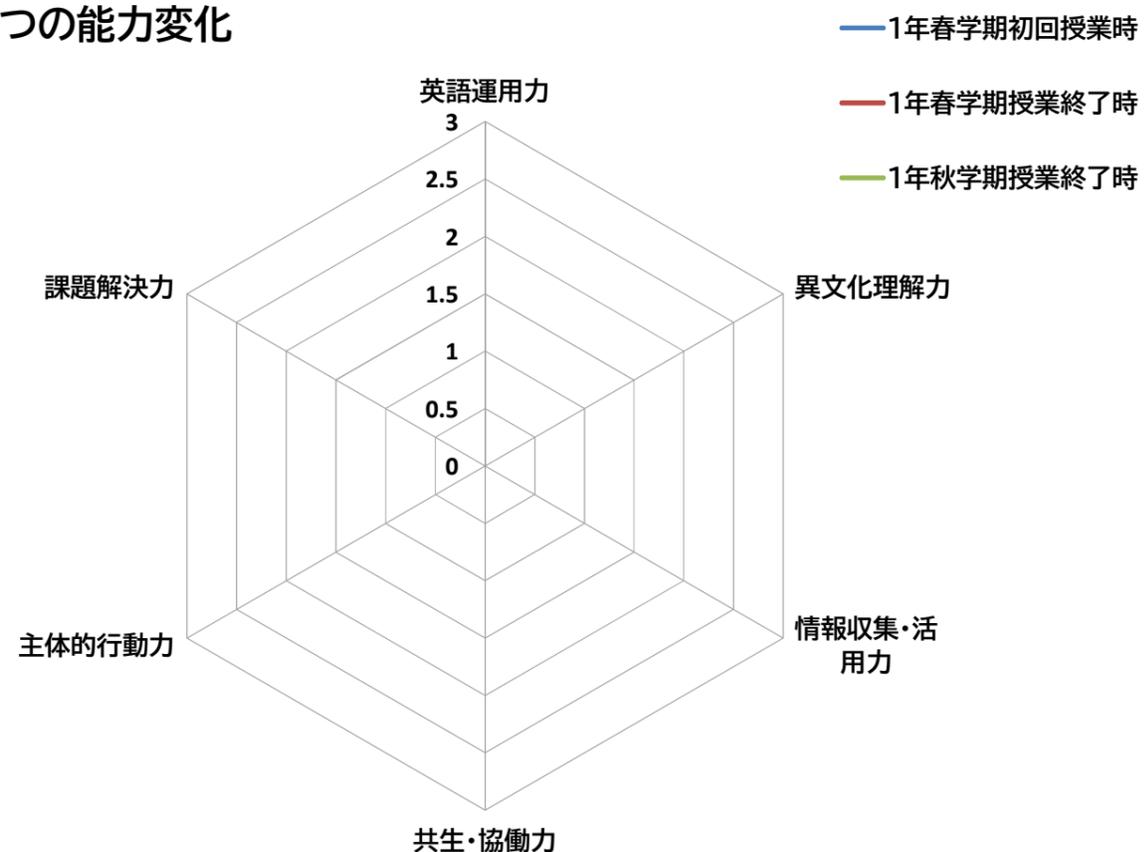
2024年度入学生 関西外国語大学短期大学部 未来キャリア英語学科 学修ルーブリック 1年生 学籍番号( )名前( )

建学の理念／ 大学の教育理念 ・方針  学科の人材養成目的	<b>【建学の理念】</b> ■ 国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材の育成 ■ 公正な世界観にもとづき時代と社会の要請に応えていく実学 <b>【学科の人材養成目的】</b> ■ 英語コミュニケーション力と情報リテラシーの向上を図り、自らのキャリア形成の過程で、未来を展望し柔軟に対応できる実務的な職業人の育成を目的とします。		<b>【大学の教育理念・方針】</b> ■ 短期大学教育を高等教育の「ファーストステージ」として位置づけ、就職や学士課程への編入学へと繋げる「言語運用能力」と幅広い教養や知識、人間性といった「基礎的人間力」の修得をめざします。 ■ 言語を「コミュニケーション・ツール」として位置づけ、より実用的な言語教育を行います。 ■ 言語教育にとどまらず、平和な国際社会の構築に貢献しうる人材として必要な国際教育に力を注ぎ、豊かな人間性に裏付けられたコミュニケーション力を培うための教養教育を重視します。			
学位授与の方針(DP)	本学科の人材養成目的を達成するため、次に掲げる知識・技能などを身につけた者に、「短期大学士(キャリア英語)」の学位を授与します。 1. 実用的な英語コミュニケーション力と情報リテラシーを修得できるようになる。 2. 多様な現代的課題に他者と協調しながら主体的に取り組み、解決する力を身につけ、未来に向けたキャリア形成ができるようになる。 <div style="text-align: center; background-color: #d9ead3; padding: 5px;"><b>キャリア形成力</b></div> DPの1 ■ 実用的な英語コミュニケーション力と情報リテラシーの修得 ・英語を理解し、実用的な目的で受信や発信ができる能力 ・情報を適切に、収集・選択・分析・発信する能力 DPの2 ■ 多様な現代的課題に他者と協調しながら主体的に取り組み、解決する力を身につけ、未来に向けたキャリア形成ができるようになる。 ・他者と協力し目標に向かって取り組む能力 ・主体的に考え、物事に対して積極的に取り組む能力 ・多様な課題の解決策を考え、実行する能力					
6つの能力	英語運用力	異文化理解力	情報収集・活用力	共生・協働力	主体的行動力	課題解決力
定義	英語を理解し実用的な目的で受信・発信する力	多様な文化背景を理解する力	情報を適切に、収集・選択・分析・発信する力	多種多様な価値観を有する他者と協力し目標に向かって取り組む力	主体的に考え、積極的に物事に取り組む力	様々な課題に対する解決策を考え、実行する力
レベル1 基礎	英語で日常生活の場面の意思疎通を図ることができる	多様な文化に興味を持っている	情報の取り扱い及び受信・発信について基本的な知識を持っている	多種多様な価値観を認識している	自らの強み・弱みを理解している	様々な課題を認識し、解決することに興味を持っている
レベル2 応用	英語で学問・ビジネスの場面の特定のトピックに関して意思疎通を図ることができる	異なる文化背景を理解し尊重することができる	情報を様々な情報源から適切に集め、分析することができる	多種多様な価値観を尊重し自らの意見を相手に理解させることができる	自らの強み・弱みを踏まえた上で物事を考え、計画することができる	様々な課題の原因や背景を分析し、解決策を導き出すことができる
レベル3 発展	英語で学問・ビジネスの場面の幅広いトピックに関して意思疎通を図ることができる	異なる文化背景を有する環境に積極的に溶け込むことができる	情報を適切に収集・分析し、かつ発信することができる	多種多様な価値観を有する他者と協力し、目標に向かって取り組むことができる	自らの強み・弱みを踏まえた上で物事を考え、計画し実行することができる	様々な課題の解決に向けて取り組むことができる

コース科目	・English for Social Issues A～D ・English for Global Issues A, B ・TOEFL演習 ・TOEIC演習 ・英検演習 ・試験英語A～C	・日本語文章表現法 ・中国語Ⅰ～Ⅳ ・スペイン語Ⅰ～Ⅳ ・フランス語Ⅰ、Ⅱ ・ハンゲルⅠ、Ⅱ ・海外事情研究A～G	・情報リテラシーA、、B ・情報処理概論 ・キャリア形成	・ホスピタリティ ・秘書学概論 ・秘書実務 ・人権問題論 ・スポーツ健康科学A、B ・総合科目A、B、D、E	・サービスホスピタリティ演習 ・カラーコーディネート実践 ・ファッションコーディネート実践 ・ドクターズクラーク実践 ・プライダル・ビジネス ・観光・ビジネス ・エアライン・ビジネス ・ホテル・ビジネス ・ツーリズム演習 ・キャリアプランニング ・ビジネス入門 ・海外企業研究 ・総合科目C ・ボランティア実習A～D ・ボランティア実習E ・就業体験実習A～D ・就業体験実習E	・KGCペーシックスA～C ・文化とくらし ・就業体験型PBL ・法学 ・企業倫理
-------	--	--	------------------------------------	---	---	---

6つの能力変化 記入年月日	1年春学期 初回授業時 年 月 日	1年春学期 授業終了時 年 月 日	所 見 欄 授業や授業外での具体的な学びを記入し、 自己評価した点数の分析を記述すること。	1年秋学期 授業終了時 年 月 日	所 見 欄 授業や授業外での具体的な学びを記入し、 自己評価した点数の分析を記述すること。
英語運用力	0・1・2・3	0・1・2・3		0・1・2・3	
異文化理解力	0・1・2・3	0・1・2・3		0・1・2・3	
情報収集・活用力	0・1・2・3	0・1・2・3		0・1・2・3	
共生・協働力	0・1・2・3	0・1・2・3		0・1・2・3	
主体的行動力	0・1・2・3	0・1・2・3		0・1・2・3	
課題解決力	0・1・2・3	0・1・2・3		0・1・2・3	

### 6つの能力変化



### 【学修ルーブリック】

- ①自身の「学びの深さ」をはかる。→ 自己評価により、「学びの深さ」を実感することができる。
- ②春学期初回授業時、春学期授業終了時、秋学期授業終了時に、ルーブリックに従い自己評価を行う。
  - ・数値は0点～3点の間で自己評価し、小数での記載も可(0.5、1.5など)とする。
  - ・所見欄には、その理由を具体的に記述する。
    - ・授業や授業外での具体的な学びを記入し、自己評価した点数の分析を記述すること。
    - ・学期終わりなどの機会に、自己評価と実際のコース科目の成績や資格試験のスコア等との比較を行うこと。
  - ・レーダーチャートに、自身の6つの能力評価を記入し、それぞれを直線で結ぶ。
- ③短期大学での学びの総括をレーダーチャートにより確認し、次年度以降の学修につなげる。

### 【1年次終了時の学びの総括】

- ・1年間の短大での授業や授業外での学びを、学修ルーブリックにより俯瞰し、自身の将来設計を踏まえながら、自己分析を行い、下記に記述すること。

---

---

---

---

---

---

---

---

## 2022年度 企業実習先一覧

No.	受入先(正式名称・通称)	業種	受入先所在地	年間受入 可能人数
1	株式会社アーク・スリー・インターナショナル	旅行業	大阪府	2
2	株式会社I.S.コンサルティング	その他(インターンシップ業)	兵庫県	8
3	ICS関西	団体	大阪府	6
4	青山商事株式会社	小売業	広島県	2
5	イオンフィナンシャルサービス株式会社	金融業	東京都	4
6	株式会社内田洋行	商社	大阪府	1
7	株式会社HRO ハイアットリージェンシー大阪	ホテル	大阪府	5
8	株式会社ANA総合研究所(ANA関西空港株式会社)	航空業	大阪府	15
9	株式会社ANA総合研究所(ANA中部空港株式会社)	航空業	愛知県	50
10	株式会社ANA総合研究所(ANA成田エアポートサービス株式会社)	航空業	千葉県	10
11	SMBC日興証券株式会社	金融業	大阪府	9
12	合同会社エス・ホテルオペレーションズ京都堀川 メルクール京都ステーション	ホテル	京都府	2
13	株式会社 エンジェルリゾートグループ小豆島 小豆島国際ホテル・ベイリゾートホテル小豆島	ホテル	香川県	8
14	公益財団法人 大阪国際交流センター	団体	大阪府	9
15	株式会社カース・キャリアセンター	その他(広告代理業)	大阪府	6
16	金井ホールディングス株式会社	メーカー	大阪府	1
17	カワソーテクセル株式会社	メーカー	大阪府	2
18	株式会社関西マツダ	小売業	大阪府	4
19	北おおさか信用金庫	金融業	大阪府	1
20	木村情報技術株式会社	その他(IT・情報サービス)	愛知県	1
21	協同組合関西ファッション連合(KanFA)	団体	大阪府	2
22	公益財団法人 京都市国際交流協会	団体	京都府	2
23	京都中央信用金庫	金融業	京都府	1
24	京都日産自動車株式会社	小売業	京都府	2
25	株式会社近鉄・都ホテルズ 都ホテル 京都八条	ホテル	京都府	2
26	株式会社近鉄・都ホテルズ ホテル近鉄ユニバーサル・シティ	ホテル	大阪府	6
27	サンフロンティアホテルマネジメント株式会社	ホテル	東京都	2
28	GHS株式会社 大阪ホテル事業所 ANAクラウンプラザホテル大阪	ホテル	大阪府	10
29	株式会社志摩スペイン村	サービス	三重県	3
30	株式会社JALスカイ大阪	航空業	大阪府	2
31	株式会社SYNTH	その他(レンタルオフィス)	大阪府	8
32	スタイレム瀧定大阪株式会社	商社	大阪府	2
33	株式会社スタジオアリス	サービス	東京都	4
34	セイハネットワーク株式会社関西統括本部	サービス	大阪府	6
35	株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド ザ・プリンス 京都宝ヶ池	ホテル	京都府	1
36	ダイコロ株式会社	メーカー	大阪府	2
37	株式会社大伸社ディライト	その他(デザイン業)	大阪府	2
38	大成建設株式会社 関西支店	建設・不動産業	大阪府	1
39	大東住建株式会社	建設・不動産業	大阪府	4
40	大東土地株式会社	建設・不動産業	大阪府	4
41	高見株式会社TAKAMI BRIDAL	サービス	京都府	6
42	公益財団法人 徳島県国際交流協会	団体	徳島県	2
43	とさでん交通株式会社	航空業	高知県	2
44	ナビオコンピュータ株式会社大阪本社	その他(IT・情報サービス)	大阪府	1
45	株式会社西村屋	ホテル(観光旅館)	兵庫県	4
46	ニセコビレッジ株式会社 HILTON NISEKO VILLAGE	ホテル	北海道	6
47	株式会社日興商会	商社	兵庫県	1
48	株式会社ニュー・オータニ ホテルニューオータニ大阪	ホテル	大阪府	5
49	ネットヨタ大阪株式会社	小売業	大阪府	1
50	ハイアットリソースキャピタルジャパン合同会社 パークハイアット 京都	ホテル	京都府	4
51	株式会社ハヤシゴ	商社	大阪府	2

No.	受入先(正式名称・通称)	業種	受入先所在地	年間受入 可能人数
52	株式会社阪急オアシス	小売業	大阪府	3
53	株式会社阪神ホテルシステムズ ザ・リッツ・カールトン大阪	ホテル	大阪府	5
54	株式会社東山ホールディング ハイアットリージェンシー京都	ホテル	京都府	2
55	東山産業株式会社京都事業所	その他(物品賃貸)	東京都	1
56	特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議	団体	大阪府	6
57	枚方市役所	公務	大阪府	2
58	フェデラルエクスプレスジャパン合同会社	物流・運輸業	大阪府	4
59	フェデラルエクスプレスジャパン合同会社	物流・運輸業	東京都	3
60	不二商事株式会社	小売業	大阪府	6
61	株式会社ベアフォスターホールディングス	その他(IT・情報サービス)	大阪府	14
62	株式会社ボーダーリンク	サービス	大阪府	4
63	株式会社ホスピタリティオペレーションズ スマイルホテル大阪中之島	ホテル	東京都	2
64	株式会社ホスピタリティオペレーションズ スマイルホテル京都四条	ホテル	東京都	1
65	株式会社ホテルグランヴィア大阪 ホテルグランヴィア大阪	ホテル	大阪府	2
66	株式会社ホテル京阪マネジメント ホテル京阪 京都グランデ・京都駅南	ホテル	大阪府	3
67	株式会社ホテル京阪マネジメント ホテル京阪 ユニバーサルタワー	ホテル	大阪府	2
68	ホテルモントレ株式会社 ホテルモントレ大阪	ホテル	大阪府	2
69	ホテルモントレ株式会社 ホテルモントレ京都	ホテル	大阪府	2
70	ホテルモントレ株式会社 ホテルモントレ グラスミア大阪	ホテル	大阪府	9
71	ホテルモントレ株式会社 ホテルモントレ ラ・スール大阪	ホテル	大阪府	2
72	株式会社ホライズン・ホテルズ(博多ホテル事業所) ANAクラウンプラザホテル福岡	ホテル	福岡県	1
73	株式会社ホンダカーズ兵庫	小売業	兵庫県	6
74	株式会社まなれぼ	その他(コワーキングスペース)	大阪府	10
75	丸三証券株式会社	金融業	東京都	3
76	マルホ発條工業株式会社	メーカー	京都府	1
77	公益財団法人 三重県国際交流財団	団体	三重県	1
78	名鉄観光サービス株式会社	旅行業	京都府	2
79	株式会社新神戸ホールディング ANAクラウンプラザホテル神戸	ホテル	兵庫県	4
80	森トラスト・ホテルズ&リゾート株式会社 コートヤード・パイ・マリオット 新大阪ステーション	ホテル	大阪府	6
81	森トラスト・ホテルズ&リゾート株式会社 翠嵐 ラグジュアリーコレクションホテル 京都	ホテル	京都府	3
82	森トラスト・ホテルズ&リゾート株式会社 南紀白浜マリオットホテル	ホテル	和歌山県	10
83	森トラスト・ホテルズ&リゾート株式会社 琵琶湖マリオットホテル	ホテル	滋賀県	6
84	森トラスト・ホテルズ&リゾート株式会社 富士マリオットホテル山中湖	ホテル	山梨県	4
85	森トラスト・ホテルズ&リゾート株式会社 ラフォーレリゾート修善寺	ホテル	静岡県	20
86	吉川運輸株式会社(吉川ロジスティクスグループ)	物流・運輸業	大阪府	2
87	レーキサイドホテルシステムズ株式会社 ザ・リッツ・カールトン日光	ホテル	栃木県	3
88	株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾート	ホテル	大阪府	4
89	渡辺パイプ株式会社	商社	大阪府	1
受入可能人数 計				408

本学科関連の分類別蔵書数

(単位:冊)

	和書	洋書	合計	分類別比
総記	17,957	29,569	47,526	10.4%
哲学	17,504	7,535	25,039	5.5%
歴史	32,879	13,675	46,554	10.2%
社会科学	76,846	25,278	102,124	22.4%
自然科学	13,885	1,920	15,805	3.5%
工学	6,853	1,871	8,724	1.9%
産業	6,209	1,680	7,889	1.7%
芸術	14,088	5,053	19,141	4.2%
語学	35,614	38,185	73,799	16.2%
文学	47,715	52,978	100,693	22.0%
製本雑誌	3,636	5,804	9,440	2.1%
(小計)	273,186	183,548	456,734	100.0%
教員長期貸出資料	59,894	67,979	127,873	-
合計	333,080	251,527	584,607	-
構成比	57.0%	43.0%	100.0%	-

本学科関連の蔵書数

1) 専門必修科目関連	16,674 冊
English for Social Issues	14,299
English for Global Issues	1,062
K. G. C. ベーシックス	1,313
2) 専門選択科目関連	11,233 冊
サービスホスピタリティ	36
カラーコーディネート	50
ファッションコーディネート	68
ドクターズクラーク	12
ブライダル・ビジネス	91

観光・ビジネス	322
エアライン・ビジネス	92
ホスピタリティ	37
文化とくらし	5,469
秘書学	218
秘書実務	27
情報リテラシー	416
キャリアプランニング	291
キャリア形成	1,397
日本語文章表現法	2,687
TOEFL 演習、	1
TOEIC 演習	15
英検演習	4
合計	27,907 冊

## 本学科関連の所蔵雑誌タイトル

### 中宮 洋雑誌

#### ◆言語学

- 1 American journal of philology
- 2 American Philological Association newsletter
- 3 American speech
- 4 Analysis
- 5 Applied linguistics
- 6 Brain and language
- 7 CLS
- 8 Cognitive linguistics
- 9 Diachronica
- 10 Discourse processes
- 11 ELT journal
- 12 English journal
- 13 English linguistics
- 14 English studies
- 15 English teaching forum
- 16 English today
- 17 Essential teacher
- 18 Folia linguistica historica
- 19 General linguistics
- 20 Hispania
- 21 Hispanic review
- 22 Interdisciplinary journal for Germanic linguistics and semiotic analysis
- 23 International journal of American linguistics
- 24 International journal of lexicography
- 25 International review of applied linguistics in language teaching
- 26 JALT journal
- 27 Japan journal of multilingualism and multiculturalism
- 28 Journal of applied linguistics
- 29 Journal of East Asian linguistics
- 30 Journal of Japanese linguistics
- 31 Journal of linguistics
- 32 Journal of memory and language
- 33 Journal of phonetics
- 34 Journal of pragmatics
- 35 Journal of semantics
- 36 Language : journal of the Linguistic Society of America
- 37 Language and literature
- 38 Language and speech
- 39 Language arts
- 40 Language in society
- 41 Language learning
- 42 Language resources and evaluation
- 43 Language teaching
- 44 Lexicographica
- 45 Lingua
- 46 Linguistic analysis
- 47 Linguistic inquiry
- 48 Linguistica Uralica
- 49 Linguistics
- 50 Linguistics abstracts
- 51 Linguistics and philosophy
- 52 Literary & linguistic computing
- 53 MLN : modern language notes
- 54 Modern philology
- 55 Namn och bygd
- 56 Natural language & linguistic theory

- 57 Natural language semantics
- 58 Neuphilologische Mitteilungen
- 59 Nordic journal of linguistics
- 60 Philological quarterly
- 61 Phonetica
- 62 Phonology
- 63 Proceedings of the West Coast Conference on Formal Linguistics
- 64 Quarterly journal of speech
- 65 Research on language and social interaction
- 66 Review of English studies. New series
- 67 Romance philology
- 68 Studia neophilologica
- 69 Studies in philology
- 70 Studies in second language acquisition
- 71 TESOL quarterly
- 72 The language teacher
- 73 The Linguistic review
- 74 The Modern language journal
- 75 Transactions of the Philological Society
- 76 Tsukuba English studies
- 77 Word
- 78 Zeitschrift für romanische Philologie

#### ◆社会科学

- 1 American journal of international law
- 2 American sociological review
- 3 Arbor
- 4 Contemporary sociology
- 5 Foreign affairs
- 6 Foreign policy
- 7 Human relations
- 8 International affairs
- 9 International organization
- 10 International relations of the Asia-Pacific
- 11 International security
- 12 Journal of social issues
- 13 New internationalist
- 14 Rural sociology
- 15 Social forces
- 16 Social issues and policy review
- 17 Social science history
- 18 Social science Japan journal
- 19 The American journal of sociology
- 20 The British journal of sociology
- 21 World politics

#### ◆民族学

- 1 Acta ethnographica Hungarica
- 2 American anthropologist
- 3 American ethnologist
- 4 Anthropological science
- 5 Anthropology today
- 6 Current anthropology
- 7 Ethnic and racial studies
- 8 Journal of anthropological research
- 9 Man in India
- 10 Paideuma

- 11 The Eastern anthropologist
- 12 The journal of the Royal Anthropological Institute

◆歴史

- 1 East Asia
- 2 Eighteenth century
- 3 Eighteenth-century studies
- 4 Eurasian studies yearbook
- 5 Japan echo
- 6 Journal of Southeast Asian studies
- 7 Journal of the K.R. Cama Oriental Institute
- 8 Mediaeval studies
- 9 Speculum : a journal of mediaeval studies
- 10 The American historical review
- 11 The English historical review
- 12 The Hispanic American historical review

◆古典研究

- 1 The classical quarterly. New series
- 2 The Classical review. New series
- 3 Transactions of the American Philological Association

◆地域研究

- 1 Acta Asiatica
- 2 American studies
- 3 Américas
- 4 Asian ethnology
- 5 Asian survey
- 6 Critical Asian studies
- 7 Harvard journal of Asiatic studies
- 8 Japan close-up
- 9 Journal of American folklore
- 10 Journal of the American Oriental Society
- 11 Journal of the Oriental Institute
- 12 Kateigaho (international ed.)
- 13 Kyoto journal
- 14 Latino america
- 15 Monumenta Nipponica
- 16 Positions
- 17 Review of Japanese culture and society
- 18 Suomalais- Ugrilaisen Seuran toimituksia
- 19 The Atlantic
- 20 The Journal of Asian studies
- 21 The Journal of Indo-European studies
- 22 The journal of Japanese studies
- 23 The transactions of the Asiatic Society of Japan. Ser. 4
- 24 U.S.-Japan women's journal. English supplement
- 25 にっぽん (英語版)

◆文学

- 1 American literature
- 2 Asian theatre journal
- 3 Brontë studies
- 4 Bulletin of Spanish studies
- 5 Cervantes
- 6 Chaucer review
- 7 Comparative drama
- 8 Comparative literature

- 9 ELH : a journal of english literary history
- 10 Essays in criticism
- 11 Granta
- 12 JEGP : journal of English and Germanic philology
- 13 Latin American literary review
- 14 Medium ævum
- 15 Modern fiction studies
- 16 Neophilologus
- 17 Nineteenth-century literature
- 18 Notes and queries. New series
- 19 PMLA : publications of the Modern Language Association of America
- 20 Poetics
- 21 Shakespeare quarterly
- 22 Studies in English literature
- 23 Studies in English literature 1500-1900
- 24 T · L · S, the Times literary supplement
- 25 The drama review : TDR
- 26 Theatre notebook
- 27 Theatre survey
- 28 Twentieth century literature
- 29 World literature today

◆人文科学

- 1 American quarterly
- 2 Journal of the history of ideas

◆哲学/心理学

- 1 Analysis. New series
- 2 Japanese journal of religious studies
- 3 Japanese religions
- 4 Journal of applied psychology
- 5 Journal of religion in Africa
- 6 Journal of social psychology
- 7 Philosophy east and west
- 8 The eastern buddhist. New series
- 9 The Journal of philosophy
- 10 The journal of psychology

◆経済

- 1 Business week
- 2 California management review
- 3 Economic development and cultural change
- 4 Economy, culture & history Japan spotlight bimonthly
- 5 Fortune(Asia ed.)
- 6 Harvard business review
- 7 Japan company handbook
- 8 Journal of economic literature
- 9 Journal of world business
- 10 MIT Sloan management review
- 11 The American economic review
- 12 The economic journal
- 13 The economist
- 14 The Journal of economic perspectives
- 15 Econometrica
- 16 Japanese Economic Review
- 17 Journal of Finance
- 18 Journal of Money, Credit and Banking
- 19 Journal of Political Economy

- 20 Quarterly Journal of Economics
- 21 Review of Economic Studies
- 22 Review of Economics and Statistics
- 23 Strategic finance
- 24 Journal of management accounting research
- 25 Journal of international financial management & accounting

◆自然科学

- 1 Journal of field archaeology
- 2 National geographic

◆教育

- 1 College English
- 2 Communication education
- 3 Computers & education
- 4 Cross currents
- 5 Educational perspectives
- 6 Educational technology
- 7 Harvard educational review
- 8 Journal of educational technology systems
- 9 NEA today
- 10 Profession
- 11 Theory into practice

◆総合誌

- 1 New York
- 2 Newsweek
- 3 The spectator
- 4 Time
- 5 U.S. news & world report

## 御殿山 洋雑誌

### ◆言語学

- 1 American speech
- 2 Annual review of applied linguistics
- 3 Applied linguistics
- 4 Applied psycholinguistics
- 5 Deutsch als Fremdsprache
- 6 Deutsche Sprache
- 7 English : the magazine of the English Association
- 8 Economy, culture & history Japan spotlight bimonthly
- 9 English today
- 10 Fremdsprache Deutsch
- 11 Germanistik
- 12 International journal of corpus linguistics
- 13 International journal of the sociology of language
- 14 Interpreting
- 15 Journal of second language writing
- 16 Language learning
- 17 Language testing
- 18 The Modern language journal
- 19 Modern language quarterly
- 20 Newsletter
- 21 Revue des langues romanes
- 22 Second language research
- 23 Sprache im technischen Zeitalter
- 24 Sprachtypologie und Universalienforschung : STUF
- 25 Studies in second language acquisition
- 26 TESOL quarterly
- 27 Vital speeches of the day
- 28 Zeitschrift für germanistische Linguistik

### ◆社会科学

- 1 Foreign affairs
- 2 International relations of the Asia-Pacific
- 3 Millennium
- 4 New Internationalist
- 5 Nikkei Asian review
- 6 Review of international studies
- 7 JICA magazine
- 8 Japan review

### ◆民族学

- 1 Abstracts in anthropology
- 2 Annual Review of Anthropology

### ◆地域研究

- 1 AJ : Canada's Environmental voice
- 2 Ebisu
- 3 German life & letters. New series : a quarterly review
- 4 JAPAN magazin
- 5 にっぽん : discovering Japan

### ◆文学

- 1 Contemporary literature
- 2 Deutsche Vierteljahrschrift für Literaturwissenschaft und Geistesgeschichte
- 3 ELH : a journal of english literary history

- 4 Euphorion : Zeitschrift für Literaturgeschichte
- 5 JEGP : journal of English and Germanic philology
- 6 Journal of literary semantics
- 7 Literatur und Kritik
- 8 Magazine littéraire
- 9 New literary history : a journal of theory and interpretation

### ◆人文学

- 1 American quarterly
- 2 Digital scholarship in the humanities : DSH
- 3 Film quarterly
- 4 Merkur : deutsche Zeitschrift für europäisches Denken
- 5 Theater heute

### ◆哲学/心理学

- 1 The British journal of educational psychology
- 2 Cognitive psychology
- 3 Humor : international journal of humor research
- 4 Multivariate behavioral research
- 5 Psychological bulletin

### ◆経済

- 1 Economy, culture & history Japan spotlight bimonthly

### ◆自然科学

- 1 National geographic

### ◆教育

- 1 The German quarterly
- 2 NEA Today

### ◆総合誌

- 1 Elle à table
- 2 Harper's
- 3 L'Obs : nouvelle formule
- 4 Muze
- 5 Newsweek (International, Pacific ed.)
- 6 News-week (U.S.edition)
- 7 Phosphore
- 8 Reader's digest
- 9 Time : the weekly newsmagazine
- 10 Time : the weekly newsmagazine Asia ed
- 11 The United States news, world report
- 12 The Week

## 中宮 和雑誌

### ◆教育

- 1 異文化間教育
- 2 教育委員会月報
- 3 教員養成セミナー
- 4 教職課程
- 5 月刊高校教育
- 6 社会科教育
- 7 週刊教育資料
- 8 切抜き速報・教育版
- 9 教育音楽・小学校版
- 10 受験ジャーナル

### ◆経済

- 1 応用経済学研究
- 2 アジア経済
- 3 金融経済研究
- 4 証券アナリストジャーナル
- 5 地域経済総覧
- 6 日本EU学会年報
- 7 一橋ビジネスレビュー
- 8 フィナンシャル・レビュー
- 9 フォーリン・アフェアーズ・レポート
- 10 貿易と関税
- 11 企業会計
- 12 金融研究
- 13 経済セミナー
- 14 月刊金融ジャーナル
- 15 週刊東洋経済
- 16 日経ビジネス
- 17 ハーバードビジネスレビュー

### ◆語学

- 1 Aera English
- 2 アルク地球人ムック
- 3 英語コーパス研究
- 4 言語研究
- 5 日本語文法
- 6 ふらんす

- 7 英語教育
- 8 英語語法文法研究
- 9 語用論研究
- 10 社会言語科学
- 11 新英語教育
- 12 多聴多読マガジン
- 13 通訳・翻訳ジャーナル
- 14 日本語の研究
- 15 日本語学
- 16 日本語教育
- 17 日本認知言語学会論文集[CD-ROM版]
- 18 認知言語学研究
- 19 認知言語学論考
- 20 中国語学

### ◆産業

- 1 ていくおふ
- 2 放送研究と調査
- 3 月刊エアステージ
- 4 月刊エアライン
- 5 情報の科学と技術

### ◆自然科学

- 1 ナショナルジオグラフィック
- 2 Newton
- 3 科学
- 4 日経サイエンス

### ◆社会科学

- 1 国際人権
- 2 国際政治
- 3 国際法外交雑誌
- 4 ジュリスト
- 5 スペイン史研究
- 6 法律時報
- 7 ボランティア学研究
- 8 外交
- 9 国際安全保障

- 10 世界法年報
- 11 判例タイムズ
- 12 判例時報
- 13 文化人類学
- 14 平和研究
- 15 法学教室
- 16 労働判例
- 17 會計
- 18 勞政時報

#### ◆人文科学

- 1 こころの科学
- 2 統合失調症のひろば
- 3 季刊考古学
- 4 月刊考古学ジャーナル
- 5 現代思想
- 6 古代學研究
- 7 思想
- 8 地理
- 9 部落解放
- 10 理想
- 11 図書館雑誌
- 12 学校図書館
- 13 図書館の学校

#### ◆地域研究

- 1 アメリカ研究
- 2 イベロアメリカ研究
- 3 オーラ！アミーゴス
- 4 ラテン・アメリカ時報
- 5 国際開発ジャーナル
- 6 国際人流

#### ◆文学

- 1 英文學研究
- 2 ユリイカ
- 3 新潮
- 4 日本文学
- 5 文体論研究

- 6 藝術新潮

#### ◆総合誌

- 1 Newsがわかる
- 2 Newsweek 日本版
- 3 Hir@gana times
- 4 ヒューマンライツ
- 5 新聞ダイジェスト
- 6 世界
- 7 中央公論
- 8 悲劇喜劇
- 9 美術手帖
- 10 文藝春秋

## 御殿山 和雑誌

### ◆教育

- 1 開発教育
- 2 教育
- 3 教員養成セミナー
- 4 教職課程
- 5 文部科学 教育通信

### ◆経済

- 1 (週刊) エコノミスト
- 2 経済セミナー
- 3 JCC monthly
- 4 週刊東洋経済

### ◆語学

- 1 中国語文法研究
- 2 第二言語としての日本語の習得研究
- 3 英語教育
- 4 現代中国語研究
- 5 日本語学
- 6 新英語教育
- 7 通訳・翻訳ジャーナル

### ◆産業

- 1 (月刊) エアライン
- 2 (月刊) エアステージ

### ◆自然科学

- 1 Newton

### ◆社会科学

- 1 アステイオン
- 2 (月刊) 福祉
- 3 国際貿易
- 4 国際問題

### ◆人文科学

- 1 現代の図書館
- 2 であい; 全同教機関誌月刊「同和教育」

- 3 異文化コミュニケーション

- 4 LRGライブラリ・リソース・ガイド

- 5 日本の参考図書; 四季版

- 6 図書館雑誌

### ◆地域研究

- 1 中国文化
- 2 東アジア近代史
- 3 人民中国 (日本語版)
- 4 今日中国
- 5 東方学
- 6 東洋学術研究
- 7 観光文化

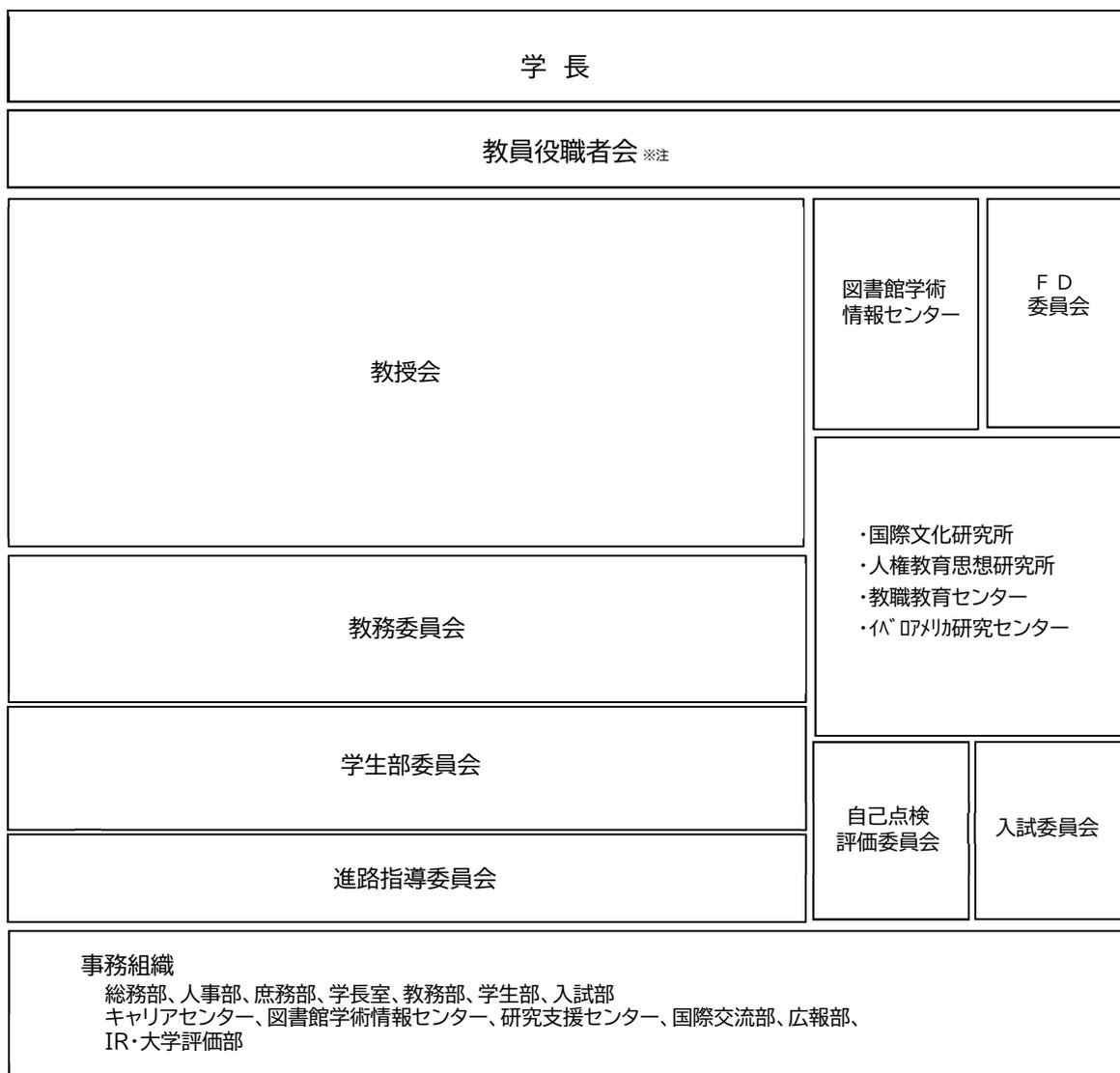
### ◆文学

- 1 中国現代文学

### ◆総合誌

- 1 美術フォーラム21
- 2 中央公論
- 3 Newsweek(日本語版)
- 4 世界

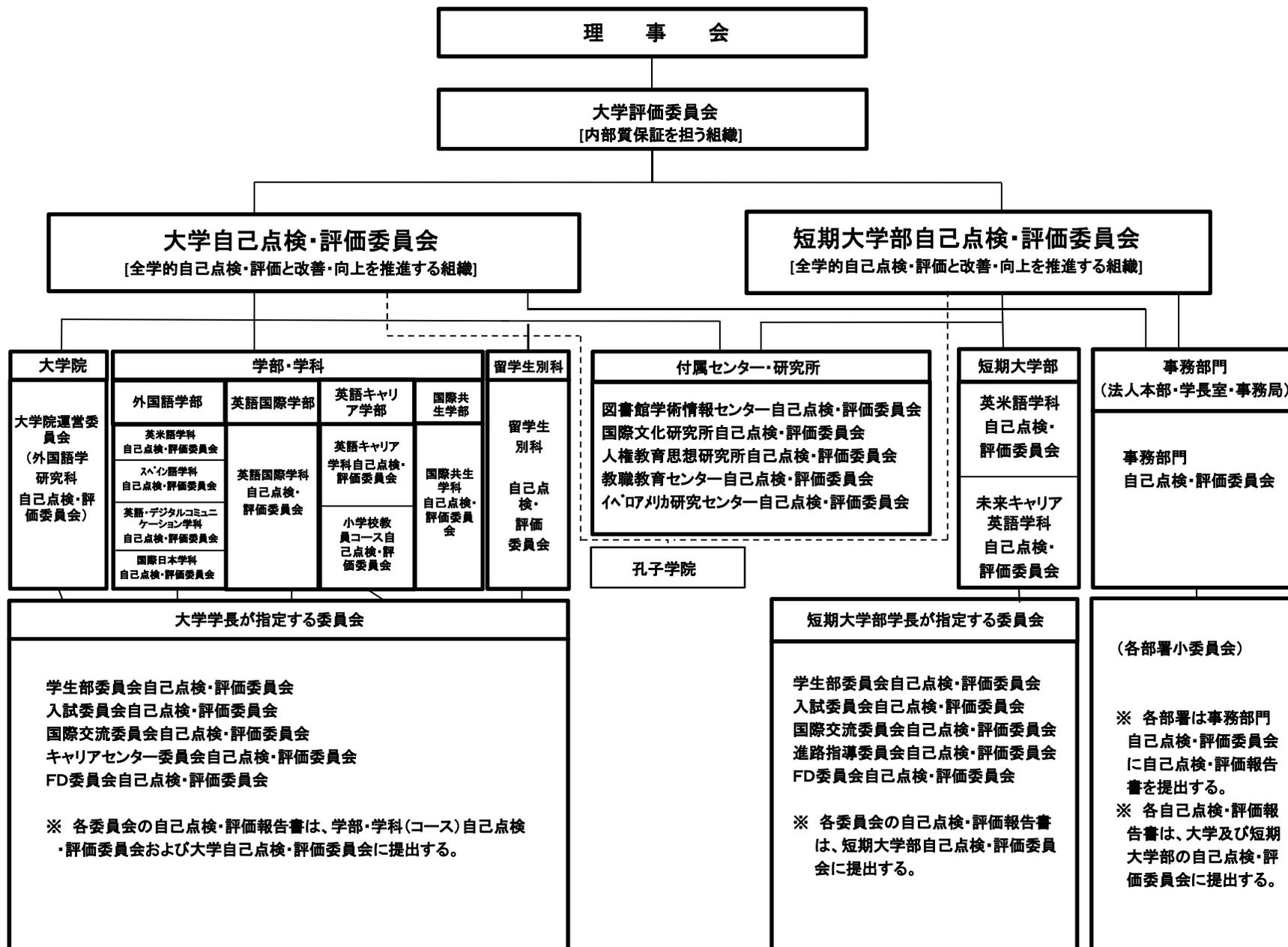
管理運営機構図



(注) 教員役職者会は、各部署等間の教学に関する連絡調整機関。  
 学長、副学長、教務部長、学生部長、入試ディレクター、FD 委員長、進路指導部長等の役職者で構成。



## 学校法人関西外国語大学内部質保証システム概念図



**関西外国語大学短期大学部  
ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会規程**

〔平成 20 年 4 月 1 日施行〕  
〔平成 26 年度改定第 65 号〕

(趣旨)

第 1 条 この規程は、関西外国語大学短期大学部学則第 5 条第 2 項の規定にもとづき、ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会 (以下「委員会」という) の運営に関し必要な事項を定める。

(所管事項)

第 2 条 委員会は次の各号に掲げる事項を所管する。

- (1) 教育内容および方法の改善のための方策に関する事項
- (2) 教育内容および方法にかかる研究会、研修会、シンポジウム等の企画運営に関する事項
- (3) 学生による授業評価の実施、分析等に関する事項
- (4) 教員からの教育内容および方法の相談に関する事項
- (5) 教育内容および方法にかかる指導が必要な教員に関する事項
- (6) ファカルティ・ディベロップメント (FD) 活動報告書等の作成に関する事項
- (7) 前各号のほか、教育内容および方法の改善に関する事項および学長が諮問する事項

(組織)

第 3 条 委員会は次の各号の委員をもって組織する。

- (1) ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会委員長
  - (2) 教務部長
  - (3) 教育職員
  - (4) そのほか、学長が指名する職員
- 2 委員は学長が委嘱する。
- 3 委員の任期は 1 年とし、再任を妨げない。
- 4 委員に欠員が生じた場合の補充の委員の任期は、前項の規定にかかわらず前任者の残任期間とする。

(委員会の招集)

第 4 条 委員会は学長が招集する。

(委員長等)

第 5 条 委員会に委員長を置く。

- 2 委員長はファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会委員長とし、議長となる。

(議事)

- 第 6 条 委員会は委員の過半数の出席をもって成立する。  
2 委員長は審議または実施の結果を学長に報告する。

(事務)

- 第 7 条 委員会の事務は教務部が行う。

(雑則)

- 第 8 条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は学長が指示する。  
2 委員会は大学ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会と協働することができる。

(改廃)

- 第 9 条 この規程の改廃は理事会が行う。

附則

この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。(平成 20 年 2 月 23 制定)

附則

この規程の改正は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。(平成 27 年 3 月 14 日改定)

## 学校法人 関西外国語大学 スタッフ・ディベロップメント(SD) 委員会規程

〔平成 23 年 4 月 1 日施行〕  
2021 年度改定第 38 号

### (目的)

第 1 条 この規程は、教育職員および事務職員（以下「職員」という）等を対象として、学校法人関西外国語大学スタッフ・ディベロップメントの実施に関する方針（以下「実施方針」という）に掲げる目的等を実現するために設置するスタッフ・ディベロップメント(SD)委員会（以下「委員会」という）に関し、必要事項を定める。

### (任務)

第 2 条 委員会はSD活動が継続して行われるために、次の事項について審議するとともに推進のための具体的方策を決定する。

- (1) 実施方針に掲げる研修等に関する事項
- (2) 学生の学習支援のための基本方針と実施体制に関する事項
- (3) 部門単位での業務改善目標の設定と結果の分析に関する事項
- (4) 審議および決定した内容について学内で告知徹底するための具体的方策に関する事項
- (5) その他、委員会が必要と認めた事項

### (構成)

第 3 条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 事務局長
- (2) 総務部長
- (3) 理事長が委嘱する職員

### (委員長および副委員長)

第 4 条 委員長は、事務局長とする。

- 2 委員長に事故あるときは、その職務を代行する副委員長を置くことができる。
- 3 副委員長は、委員長が指名する。

### (会議)

第 5 条 委員会は、必要に応じて委員長が随時招集する。ただし、委員 2 名以上の要請があった場合、委員長はこれを招集しなければならない。

- 2 議長は、委員長があたる。委員長に事故あるときは、委員長が指名する者が議長を代行する。
- 3 委員会は、教職協働を推進するために関西外国語大学および関西外国語大学短期大学部FD委員会と合同で開催することができる。
- 4 委員会は、必要に応じてオブザーバーとして委員以外の職員の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(任期)

第 6 条 第 3 条第 1 項第 3 号に定める委員の任期は 2 年とする。ただし、補充された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任を妨げない。

(事務取扱)

第 7 条 委員会の事務は、委員の中から委員長の指名する者をもってあてる。

(規程の改廃)

第 8 条 この規程の改廃は、理事会が行う。

附 則

この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。(平成 23 年 2 月 19 日制定)

平成 25 年 4 月 1 日施行 (平成 25 年 3 月 9 日改定)

平成 30 年 4 月 1 日施行 (平成 30 年 3 月 30 日改定)

附 則

この規程の改正は、2022 年 4 月 1 日から施行する。(2022 年 3 月 26 日改定)